

これからの学校生活について

児童生徒の皆さんへ

学校は、6月8日から通常日課となり、学校に皆さんの笑顔が戻ってきました。やっと全員そろって学校生活を送ることができます。これまで、3か月近くも学校に来ない日が続く、皆さんは、たいへん辛い思いをしたことでしょう。休校は、皆さんの健康を第一に考えてのことでしたが、辛い思いをさせたことを申し訳なく思います。でも、皆さんは、その辛さに打ち勝ち、学校生活を取り戻しました。その頑張りを讃えます。

学校生活は、時間割どおりに進み、給食や部活動も始まりました。まだできないことがあります。やり方を変えたり工夫したりして、できることを増やしていきましょう。そして、夢や希望を描いて、あわてず、あせらず、あきらめず、前を向いて進んでいきましょう。

これから始まる新しい学校生活について二つお話をします。

◆新しい生活様式について

新型コロナウイルスは、撲滅することが難しく、人間は長期間にわたり、新型コロナウイルスとともに生きていかなければなりません。新しい生活様式は、人間が新型コロナウイルスに負けないようにするための方法をまとめたものです。学校は、集団生活を通して、新しい生活様式を実践的に学び、未来を生き抜く力を育みます。皆さんは、これらのことを理解し、新型コロナウイルス感染症に感染しないよう、自ら考え、自ら判断し、感染をさける行動ができる人になってください。

◆新しい学習様式について

笠間市では、新しい学習様式として「反転授業」と「遠隔授業」に取り組みます。反転授業とは、動画などで家庭学習を行い、授業ではその知識を活用して学ぶ活動を行う授業方法です。遠隔授業とは、ネットを通して、ほかの学校の先生や専門家の指導を受けたり、ほかの学校の児童生徒と交流したりする授業方法です。そして、この二つの授業方法は、(近いうち実現する予定の)皆さん一人一人がタブレット型パソコンを使うときの授業方法につながります。皆さんには、AIやロボットがますます活躍する未来社会で、AIやロボットを使いこなし、豊かな社会を築いて欲しいと願っています。また、二つの授業方法は、突然災害が起こり、学校が休校となった時、皆さんの学びを止めない学習方法にもなります。皆さんは、新しい学習様式を通して、自ら課題を見つけ、自ら考え、自ら学び、多様な人と、対話を通して考えをまとめ、力を合わせて解決できる人になってください。

令和2年6月9日

笠間市教育委員会教育長 今泉 寛